

日本を囲む自然—海を考える

海の生物たち—ジェンダーの不思議・・・海に関わる女性研究者として



日時：2021年10月2日(土) 13:30～16:30

参加費無料

会場：グランドホテルニュー王子(苫小牧市表町4丁目3番1号)及びオンライン(Zoom)

島国日本を取り囲むのは、海—そして、海は世界につながっています。世界の海には100万種以上、あるいは、その10倍以上の生物がいると言われていたますが、その生態の不思議の話を聞いたことありますか？胎生魚といわれる種のような胎仔やそれを育む子宮の状況を知ると、ヒトの妊娠期に近い愛着さえ覚えます。サメ・エイの研究者である長崎大学の山口敦子先生から、生物多様性の話を聞き、SDGs目標14をキーとして、さらに関連する課題について考えたいと思います。多くの皆様方のご参加をお待ちしています。

プログラム

13:30 開会・主催者挨拶

13:35 第1部 ヤング・スピーチコンテスト

認定NPO法人日本BPW連合会活動報告

14:15 第2部 講演「海の研究からみた生物多様性や生態系

～環境・水産資源の再生・保全をめざして」

講師：山口敦子氏(長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科教授)

15:30 第3部 ディスカッション「苫小牧の海・自然を考える」

発言者 山口加津子氏(苫小牧漁業協同組合女性部部长)

山田香織氏(地域新聞月刊「ひらく」代表・記者)

山口敦子氏(第2部講師)

モデレーター：黒崎伸子(BPW長崎クラブ会長)

16:20 スピーチコンテスト結果発表・講評

16:30 閉会

講師プロフィール



少女時代に出会った本から海に興味を持ち、現在の研究者に至る。

研究分野は、○魚類(硬骨魚類やサメ・エイ類)の分類・分布・成長・繁殖・食性・移動・回遊・初期生活史等に関する研究 ○有明海や八代海、東シナ海などの魚類相・トッププレデターからの食物網・生態系の構造と機能に関する研究 ○海洋温暖化などの環境変化が魚類の分布・行動・生態に与える影響 ○アジア沿岸の藻場・干潟・河口域における魚類の保全生態学

参加申込方法：右の申込サイトよりお願いします。<https://bpw-tomakomai.peatix.com>

定員 80名(会場参加 30名 Zoom50名)

QRコード➡

申込み〆切：2021年9月25日(土)但し定員になり次第〆切

※ 会場参加の方は、下記メールアドレスまたは電話番号でもお申し込みいただけます。

お問合せ先：メール tomakomai@bpw-japan.jp

TEL 0144-73-9683(小山)



主催：認定NPO法人 日本BPW連合会

担当：BPW 苫小牧アソシエーツ

後援：苫小牧市 苫小牧民報社



<https://www.bpw-japan.jp/>